

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年10月30日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	11520
政策名(章)	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります	評価担当部	市民部
基本施策名(節名)	第5節 社会保険制度の充実に向けて	評価担当課	国民健康保険課
施策名	国民健康保険制度の充実に向けて	課長名	佐久間和男

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

国民健康保険制度は、農業従事者、自営業者、無職の人等、職域に係る健康保険や各種共済組合に加入していない人々を対象とするもので、国民皆保険を実施するわが国医療保険制度の基盤的な役割を果たしている。これら被保険者の健康保持・増進を目的として、国保は運営されている。

国保をはじめ医療保険制度は、保険税収入が伸び悩む一方高齢化や医療技術の高度化等により医療費は増加の一途をたどるなど、その財政運営は極めて厳しい状況となっている。平成17年度には一般会計から財政支援として繰入金62億円と一般会計の財政運営を圧迫し、他の様々な事業に大きな影響を与えている。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		33,761,980	国保加入者の増加や高齢化、医療技術の高度化に伴い、保険給付費と老健拠出金を合わせた医療費の増加。
人件費		391,472	
市民一人あたりの事業費	40,309	51,205	
合計	24,830,603	34,153,452	

*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

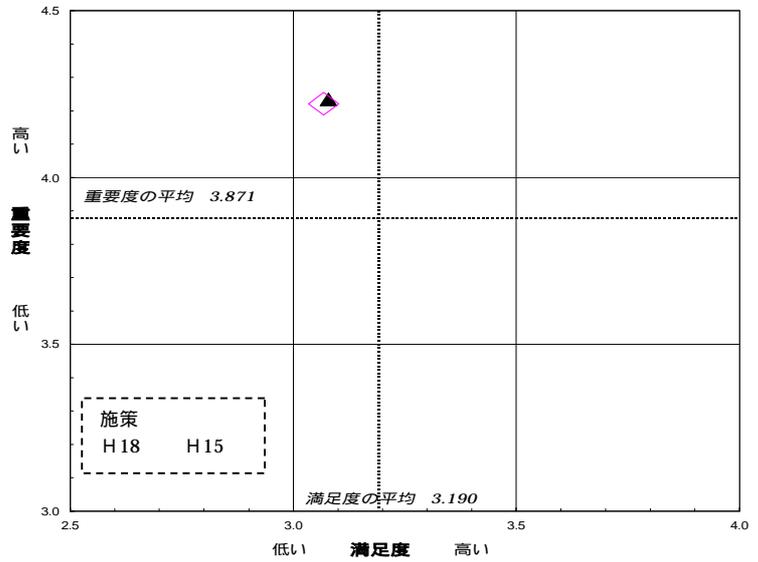
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	保険税の収納率	現年度課税分収納額 ÷ 現年度分調定額 × 100	88.57	H16
指標2				
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	90	19	90.30パーセント以上	21	91パーセント以上	平成10年度90.35パーセントであった収納率は、平成16年度には、88.57まで低下したことから当面の目標を平成10年度を上回る目標値とした。
達成率	89.57					
指標2						
達成率	#DIV/0!					
指標3						
達成率	#DIV/0!					
指標4						
達成率	#DIV/0!					
指標5						
達成率	#DIV/0!					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.068で51施策の中で42番目。
 重要度は4.221で7番目である。
 改善要望度は0.3338で7番目である。
 年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、30、40歳代で低くなっている。
 重要度は、順位でみると40歳代以上で上位10施策に入っている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。
 満足度の順位では、60歳代、70歳以上で前回調査より大幅に下がっている。
 重要度の順位では、50歳代で前回調査より上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 1	平成17年度収納率を90パーセント以上とする数値目標を設定して、収納率の向上に努めた結果平成16年度と比較すると、1ポイント向上できたものの数値目標を達成することができなかった。
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	2 1	滞納整理担当職員の定数が、平成16年度と同じ人数であるが、平成16年度と比較して収納率が向上したことで、事業の効果が得られている。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 1	
合計		8	
			1次評価
			B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	担税力があるにも係わらず滞納を続ける納税義務者に対して、財産の差押処分の強化を図り税負担の公平性を確保する。
解決策	差押処分可能財産を発見するための調査の強化を図り、必要に応じて積極的に差押処分を執行する。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

成果をあらわす指標の設定が難しい施策であるが、今後、施策目的に適合した指標の設定を検討する必要がある。	2次評価
	B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

目標値は、直近の最高率であるH6年度の93.7%を目指すこと。 滞納の原因の分析を行い、収納率向上のための解決策について、具体的に示すこと。 本施策の目的が被保険者の健康保持や健康増進であるため、それらを図るための指標や目標値設定を保健所と連携を図りながら行うこと。	3次評価
	B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

